



▲全国大会に向け、練習にも一層力が入ります。

今月29日(木)から31日(土)まで千葉県で開催される第17回全国小学生ソフトテニス大会ダブルスの部に沼田東小学校5年の桑田彩央さんと南小学校5年の高下藍さんが広島県代表として出場します。

2人は全国大会出場の常連チームの三原ジュニアソフトテニスクラブに所属し、週に3回、やまみ三原運動公園のテニスコートで行われる練習で、汗を流しています。

ポジションは桑田さんが前衛で、高下さんが後衛。ペア

を組んで1年半、高下さんは桑田さんのプレーを「ネット際に立つとボールのスピードが速く感じるのに、怖がらず確実に打ち返している、すごい」と言い、桑田さんは「コートの左右に揺さ振られても、ボールをきちんと打ち返してくれる」と高下さんに絶対の信頼を置いています。

そんな2人ですが、ダブルスでのプレーは「どちらがボールを取るか迷って失点したり、迷惑を掛けてはいけないと思うあまり力んでミスしたりすることもある」と話します。2人は一緒にプレーする時間を増やすためチームの練習とは別に自主練習を実施。培ったコンビネーションを生かして、

昨年11月の予選会で優勝し、2年連続での全国大会出場を決めました。

監督の伊藤馨さんは「テニスに対する心構えと2人の強い思いがプレーに反映され、良い結果につながっている」と力を込めます。

全国大会では、「昨年が9位だったので、それを上回りたい」と声を揃える2人。今日もコートでボールを追い掛けます。



昨年11月の予選会で優勝し、2年連続での全国大会出場を決めました。

監督の伊藤馨さんは「テニスに対する心構えと2人の強い思いがプレーに反映され、良い結果につながっている」と力を込めます。

全国大会では、「昨年が9位だったので、それを上回りたい」と声を揃える2人。今日もコートでボールを追い掛けます。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 24

全国の舞台で絶妙なコンビネーションをみせる

三原ジュニア

ソフトテニスクラブ

桑田彩央さん(右)

高下藍さん(左)

無病息災

おかだとしゆき 撮影者 岡田敏行さん

撮影エピソード

糸崎小学校のPTAや地域住民の協力で設置された立派などんど。4・5年生によるやっさ踊りが披露された後、代表者らの点火でパチパチと豪快な音を立て一気に燃え上がりました。



●撮影年月 平成30年1月
●撮影場所 糸崎小学校

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ